

第2学年 数学科

1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	1 式の計算	式の計算、式の活用	教科書 ・中学数学2 (教育出版)
	6	2 連立方程式	連立方程式とその解き方、連立方程式の応用	
	7	3 1次関数	1次関数、1次関数と方程式、1次関数の活用	
	10	4 平行と合同	平行線と角、合同と証明	
後期	12	5 三角形と四角形	三角形、四角形、三角形と四角形の活用	副教材 ・数学リピート 学習 (正進社) A I ドリル ・Q u b e n a
	2	6 確率	確率	
	3	7 データの分析	データの散らばり、データの活用	

2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查 小テスト (Q u b e n a) 計算コンテスト 単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查 単元テスト ノート ワークシート 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 (課題に対する態度や姿勢) 授業振り返りシート ノート ワークシート 問題集
評価規準例	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読んだり、先生の説明を聞いたりし、言葉の意味を理解する。 単元テストや小テストをミスなく解けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書をノートにきちんと記入する。 家庭学習では、ノートを開き、その日学習した内容のポイントを押さえる。 問題集などを使って、応用問題や文章問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業では、問い合わせに対して粘り強く考え、自分の考えを説明できるようにする。 授業で理解した内容をワークシートや問題集を使って、理解できるまで何度も繰り返し解く。 解けなかった問題をそのままにせず、自力で解けるように学習を進める。

3 アドバイス

- (1) 授業中
- 授業に必要なものを忘れない。（教科書、ノート、タブレット、定規、コンパスなど）
 - 集中して受け、板書をきちんと書き写す。振り返りを行い、授業の目標の達成状況を確認する。
 - 分からぬことがあれば、積極的に質問をする。
- (2) 家庭学習
- Q u b e n a を自分の力で解くこと。途中式や途中経過をきちんと記入する。
 - 授業で学習した内容は、その日のうちに復習する。数学リピート学習を利用し、学習を進める。
 - 定期考査に向けて、計画をしっかりと立て、これまでの学習を再確認する。
- (3) 備考
- 「毎日の積み重ねは、大きな力となる。」
 - 自分で学習内容を決める。
例
 - 毎日、計算問題を10問解く。
 - 授業ノートを家庭で見る。その日の内容を確認する。
 - 授業ノートを家庭で見る。数学リピート学習を解いてみる。（その日学習した内容）
 - 毎日、数学リピート学習を2ページ進める。（開いたページ2ページ分）
 - 既習事項（今まで学習した内容）で、理解していない内容を学習する。